

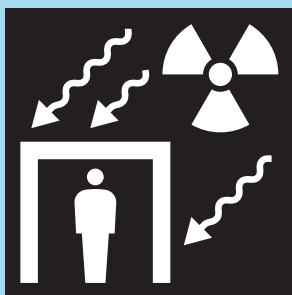
原子力防災の てびき



保存版 | 令和7年2月



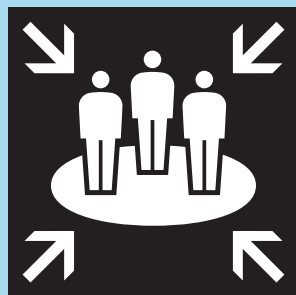
避難指示



放射線防護施設



安定ヨウ素剤配布場所



一時集合場所



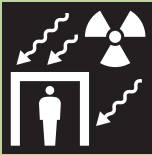
避難バス乗場



避難退域時検査場所

PAZ での取るべき行動

放射性物質の放出前に予防的に**避難**します。

放射線物質放出前		
発電所の状況	AL 警戒事態	SE 施設敷地緊急事態
	発電所で異常事態の発生 またはそのおそれがある段階	発電所で住民などに放射線による影響を もたらす 可能性がある事象 が発生した段階
施設敷地 緊急事態 要避難者	避難の準備 ☞ 8 ページ参照	安定ヨウ素剤の緊急配布 小城市へ避難 ☞ 9 ページ参照 
	ふたば園児 ・ さくら児童館	保護者へ引渡し 残留者は、避難の準備 ☞ 17 ページ参照
	避難することにより健康リスク が高まる方	屋内退避の準備 屋内退避の準備が整うまで 放射線防護対策施設 (玄海園、ひぜん荘) にて 屋内退避 ☞ 10 ページ参照 
	一般住民	避難の準備 ☞ 8 ページ参照
一時滞在者	速やかに帰宅 ☞ 18 ページ参照	速やかに帰宅 ☞ 18 ページ参照

※医療機関や社会福祉施設については、各施設で避難計画が作成されています。詳しくは、各施設にお尋ねください。

⚠️ 原子力災害が起きたら、玄海町では地区により取るべき行動が異なります ⚠️

町からの情報に基づき、あわてず落ち着いて対応するよう心がけましょう。

PAZ： 予防的防護措置を準備する区域（Precautionary Action Zone）

PAZの地区

外津、値賀川内、下宮、中通、仮立、普恩寺、シーライントウン、平尾、浜野浦、小加倉、栄、花の木、大藺、仮屋、石田の15地区

発電所からおおむね半径5kmの地域

放射性物質
放出

放射性物質放出後

GE 全面緊急事態

発電所で住民などに放射線による影響をもたらす可能性が高い事象が発生した段階

指示があるまで
避難先で避難継続

避難先で保護者に引き渡し
👉 17 ページ参照

安全に避難が実施できる
準備が整い次第、
避難
👉 10 ページ参照



安定ヨウ素剤の緊急配布
小城市へ避難

👉 9 ページ参照



安定ヨウ素剤の緊急配布
小城市へ避難し帰宅

👉 9 ページ参照



放射性物質放出後

指示があるまで
避難先で避難継続

施設敷地緊急事態要
避難者とは

PAZ 内の住民等
で次に該当する人
のことです。

- 要配慮者のうち、
避難の実施に通常
以上の時間がか
かる人



- 妊婦、授乳婦、
乳幼児及び乳幼
児とともに避難
する必要がある
人



- 安定ヨウ素剤を
服用できないと
医師が判断した
人

取るべき
行動

原子力災害
とは

複合災害時の
行動

放射線の
基礎知識

避難所・
避難経路

UPZ での取るべき行動

段階的な避難や OIL に基づく防護措置を実施するまでは
屋内退避を原則実施します。

※ OIL：運用上の介入レベル（Operational Intervention Level）

発電所の状況	放射線物質放出前	
	AL 警戒事態	SE 施設敷地緊急事態
	発電所で異常事態の発生 またはそのおそれがある段階	発電所で住民などに放射線による影響を もたらす 可能性がある事象 が発生した段階
あおば園児 ・ 玄海みらい学園 児童生徒 ・ みどり児童館	保護者へ引渡し 下校指導 ☞ 17 ページ参照	保護者へ引渡し ☞ 17 ページ参照 残留者は、屋内退避の準備
一般住民	速やかに帰宅して 情報収集 ☞ 6 ページ参照	屋内退避の準備 ☞ 13 ページ参照
一時滞在者	速やかに帰宅 ☞ 18 ページ参照	速やかに帰宅 ☞ 18 ページ参照

※医療機関や社会福祉施設については、各施設で避難計画が作成されています。詳しくは、各施設にお尋ねください。

⚠️ 原子力災害が起きたら、玄海町では地区により取るべき行動が異なります ⚠️ 町からの情報に基づき、あわてず落ち着いて対応するよう心がけましょう。

UPZ： 予防的防護措置を準備する区域（Urgent Protective action planning Zone）

UPZの地区

有浦下、有浦上、諸浦、新田、長倉、轟木、藤平、田代、牟形、大鳥、座川内、湯野尾の12地区

発電所からおおむね半径5km～30kmの地域

放射性物質
放出

放射性物質放出後

GE 全面緊急事態

発電所で住民などに放射線による影響をもたらす可能性が高い事象が発生した段階

残留者は、屋内退避

👉 13 ページ参照



指示があるまで屋内退避を継続

自宅等で屋内退避

👉 13 ページ参照



宿泊施設等で屋内退避

👉 13 ページ参照



放射性物質放出後

OIL2 超過（OIL1 超過）

職員と小城市へ一時移転（避難）

- 安定ヨウ素剤の緊急配布を受け、指示により服用
- 避難退域時検査を受け、各人で通過証を受領
- 避難先で保護者に引き渡し

👉 9 ページ参照



小城市へ一時移転（避難）

- 安定ヨウ素剤の緊急配布を受け、指示により服用
- 避難退域時検査を受け、各人で通過証を受領

👉 9 ページ参照



小城市へ一時移転（避難）後に帰宅

- 安定ヨウ素剤の緊急配布を受け、指示により服用
- 避難退域時検査を受け、各人で通過証を受領



基準の種類	初期設定値	防護措置の概要
OIL1	500 μ Sv/h	数時間以内を目途に区域を特定し、一日以内に避難を実施（移動が困難な人の一時屋内退避を含む。）
OIL2	20 μ Sv/h	1日以内を目途に区域を特定し、地域生産物の接種を制限するとともに、1週間程度内に一時移転を実施

取るべき
行動

原子力災害
とは

複合災害時の
行動

放射線の
基礎知識

避難所・
避難経路

1. 情報を得よう

●原子力規制委員会

緊急時情報ホームページ（原子力緊急アラート）
緊急情報メールサービスに登録すると原子力施設の状況や
モニタリング情報などの緊急情報を直接メールでお知らせ



原子力規制委員会緊急時 ▶ 検索

●佐賀県環境放射線モニタリングシステム

玄海原子力発電所周辺の環境放射線を調査・公開



佐賀県放射線 ▶ 検索

●原子力規制委員会

原子力施設立地地域で大規模災害などが発生した際、迅速
に情報提供



原子力規制委員会 ▶ 検索

●九州電力玄海原子力発電所



玄海原子力発電所 ▶ 検索

●国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

放射線被ばくの Q&A
放射線被ばくについての相談でよくある質問とその回答



放射線被ばくの Q&A ▶ 検索

●環境省

放射線による健康影響等に関するポータルサイト



環境省放射線ポータル ▶ 検索



●防災行政無線（屋外スピーカー、戸別受信機）

●玄海町原子力防災ポータル

事故の状況、避難の指示や屋内退避など取るべき行動のお
知らせ



玄海町原子力ポータル ▶ 検索

●玄海町役場公式 LINE



玄海町 LINE ▶ 検索

●玄海町災害メールサービス

登録制メールサービス



玄海町災害メール ▶ 検索

●エリアメール（ドコモ）

緊急速報メール（au、ソフトバンク、
Y!mobile、楽天モバイル）



緊急速報メール ▶ 検索

●佐賀県防災ネットあんあん



佐賀県あんあん ▶ 検索

●チャンネル玄海（12ch）

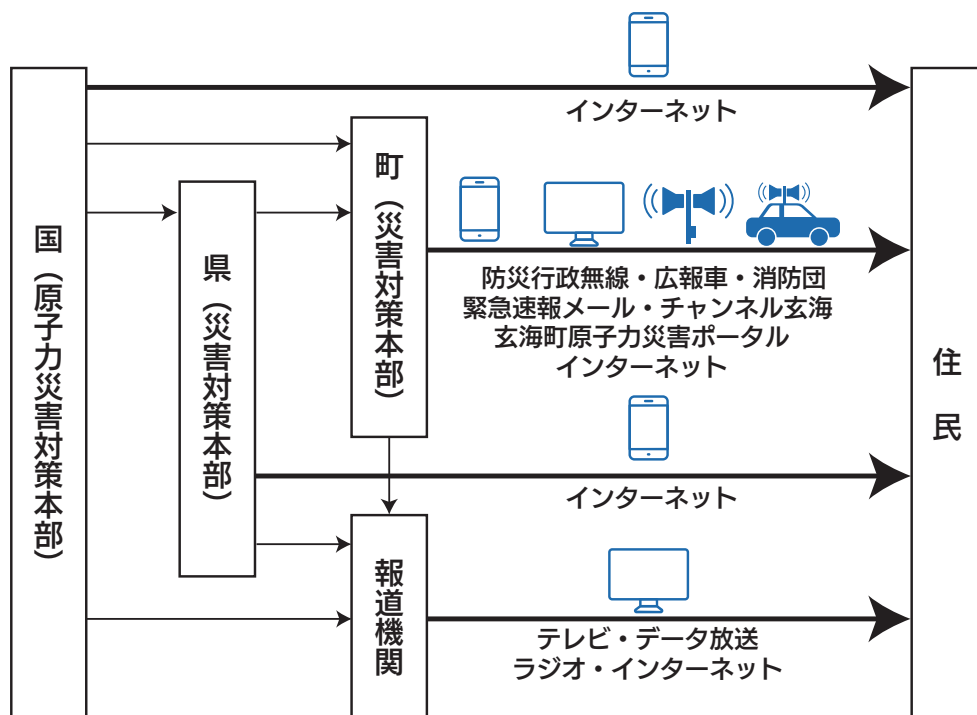


●NHK(1ch) データ放送



NHK データ放送 ▶ 検索

情報の流れ



主な広報事項

- 1 事故の発生日時及び概要
- 2 事故の状況と今後の予測
- 3 原子力発電所における対応状況
- 4 国県町の対応状況
- 5 住民等が取るべき行動
- 6 避難対象区域、屋内退避区域

町の指示に従って落ち着いて行動しましょう！

情報を得る際の注意点

原子力発電所で事故やトラブルが発生したら、町から発電所の状況や取るべき行動を玄海町原子力防災ポータルサイト、防災行政無線や緊急速報メールや広報車などさまざまな方法でお知らせします。町からの情報に基づき、落ち着いて行動してください。



町からの情報に基づいて行動！



うわさやデマに注意！



隣近所と情報の確認を！



要配慮者が情報に気づいているか確認を！

2.避難（一時移転）の準備

非常持出品の確認

自然災害時への備えと同じですので、日頃から備えておきましょう。

☐ 貴重品  現金・通帳・印鑑・健康保険証など	☐ 非常食品  水・非常食品	☐ 応急医薬品  常備薬・お薬手帳 パンソウコウなど	☐ 衣類など  着替え・タオル・ 生理用品など	☐ 乳児用品  紙オムツ・粉ミルク・ ほ乳びんなど
☐ 携帯ラジオ・ 懐中電灯  乾電池も忘れずに！	☐ 携帯電話  充電器も忘れずに！	☐ 日常生活に 欠かせないもの  眼鏡・入れ歯・補聴器など	☐ 避難時などに使用するもの  マスク・体温計・消毒液・ハンカチ・外衣・ リュック・帽子・スリッパなど	

安定ヨウ素剤の確認

事前に配布を受けた人は、安定ヨウ素剤を確認しましょう。紛失や自宅以外から避難する等で持っていない方は、避難（一時移転）時に配布します。

☞ 15 ページの「安定ヨウ素剤」を参照

避難（一時移転）時の服装の確認

☞ 12 ページの「避難（一時移転）時の服装」を参照して事前に準備しておきましょう。

渋滞への対応の確認

- ☐ 車の燃料を半分以上確保
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ モバイルバッテリーの充電
- ☐ 飲料水や食料

3. 避難（一時移転）

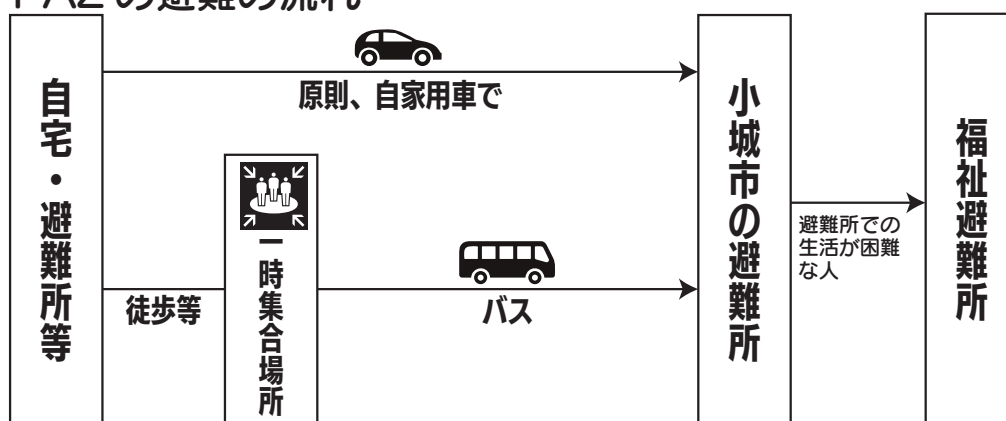
町から避難（一時移転）の指示が出たら、指定された場所へ避難（一時移転）してください。PAZとUPZでは、避難するタイミングが異なりますので、指示の内容をしっかりと確認し、落ち着いて行動しましょう。指示がない状況で慌てて避難することはいけません。パニックによる事故や渋滞中に被ばくする等の危険が伴います。

避難（一時移転）時は、原則として自家用車で移動します。自家用車で移動できない人は、一時集合場所から町・県が用意したバスで移動します。

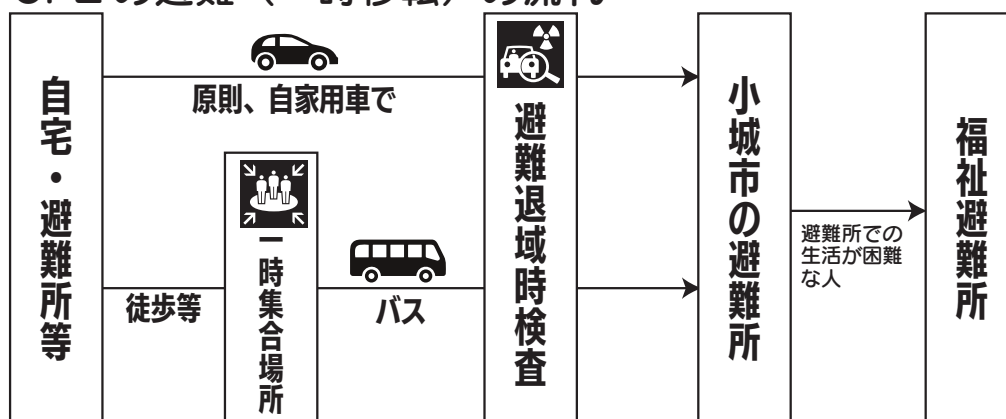
UPZの人は、必ず多久市陸上競技場で避難退域時検査を受け、検査証を各人で受領して避難所で提示してください。

避難所で生活することが困難な人は、避難所で福祉避難所を案内します。

PAZの避難の流れ



UPZの避難（一時移転）の流れ

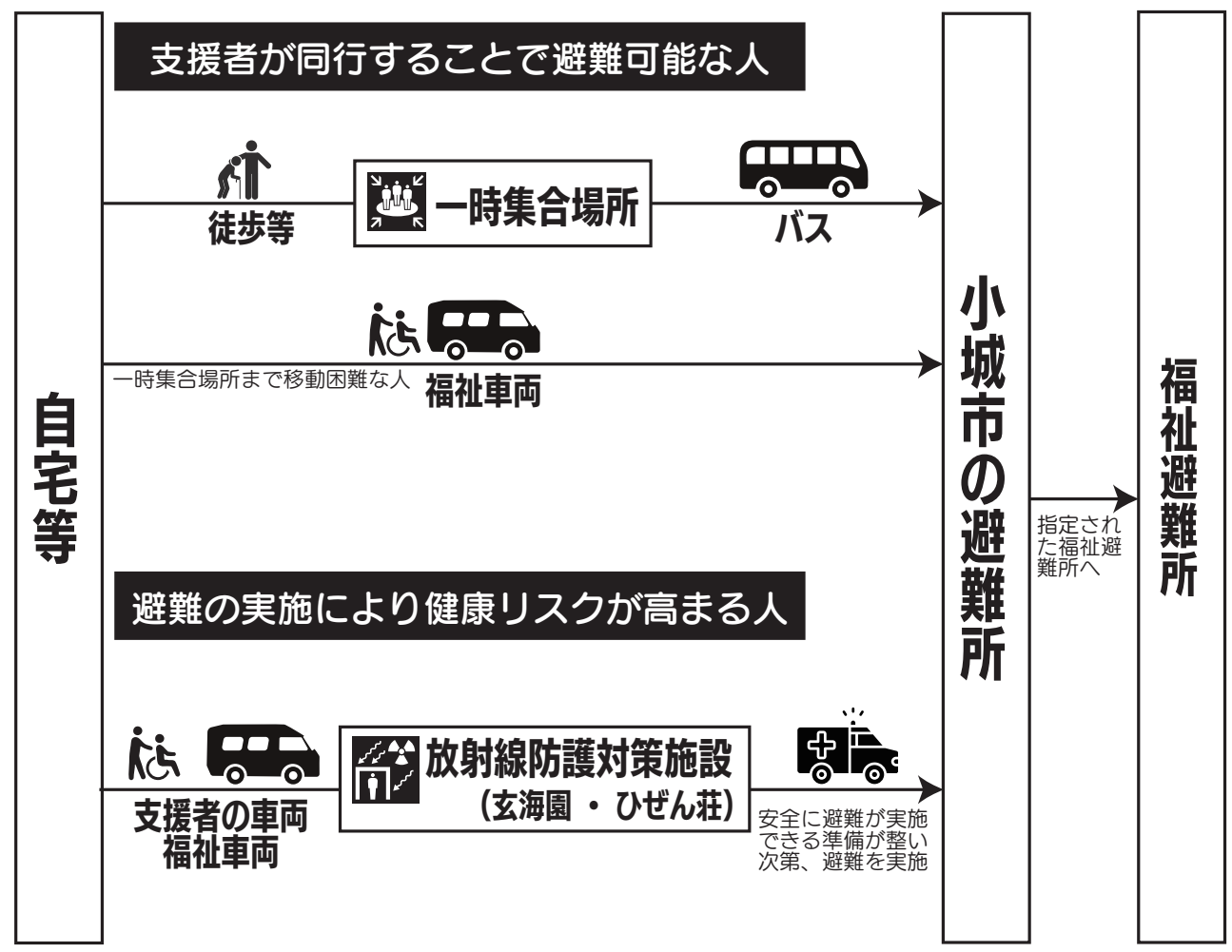


避難（一時移転）時のチェックリスト

- ☐ 正しい情報を入手し、町からの指示で避難（一時移転）を開始
- ☐ バスで避難（一時移転）する人は、一時集合場所の集合時間を確認
- ☐ 電気のコンセントを抜く、ガスの元栓を閉める、戸締りを確認
- ☐ 非常持出品を携行
- ☐ ペットも一緒に避難（一時移転）
- ☐ 安定ヨウ素剤（☞ 15 ページ参照）を持っている人は、忘れずに携行
- ☐ 安定ヨウ素剤（☞ 15 ページ参照）の配布や服用に関する情報を入手

在宅の避難行動要支援者の対応

PAZ の在宅避難行動要支援者

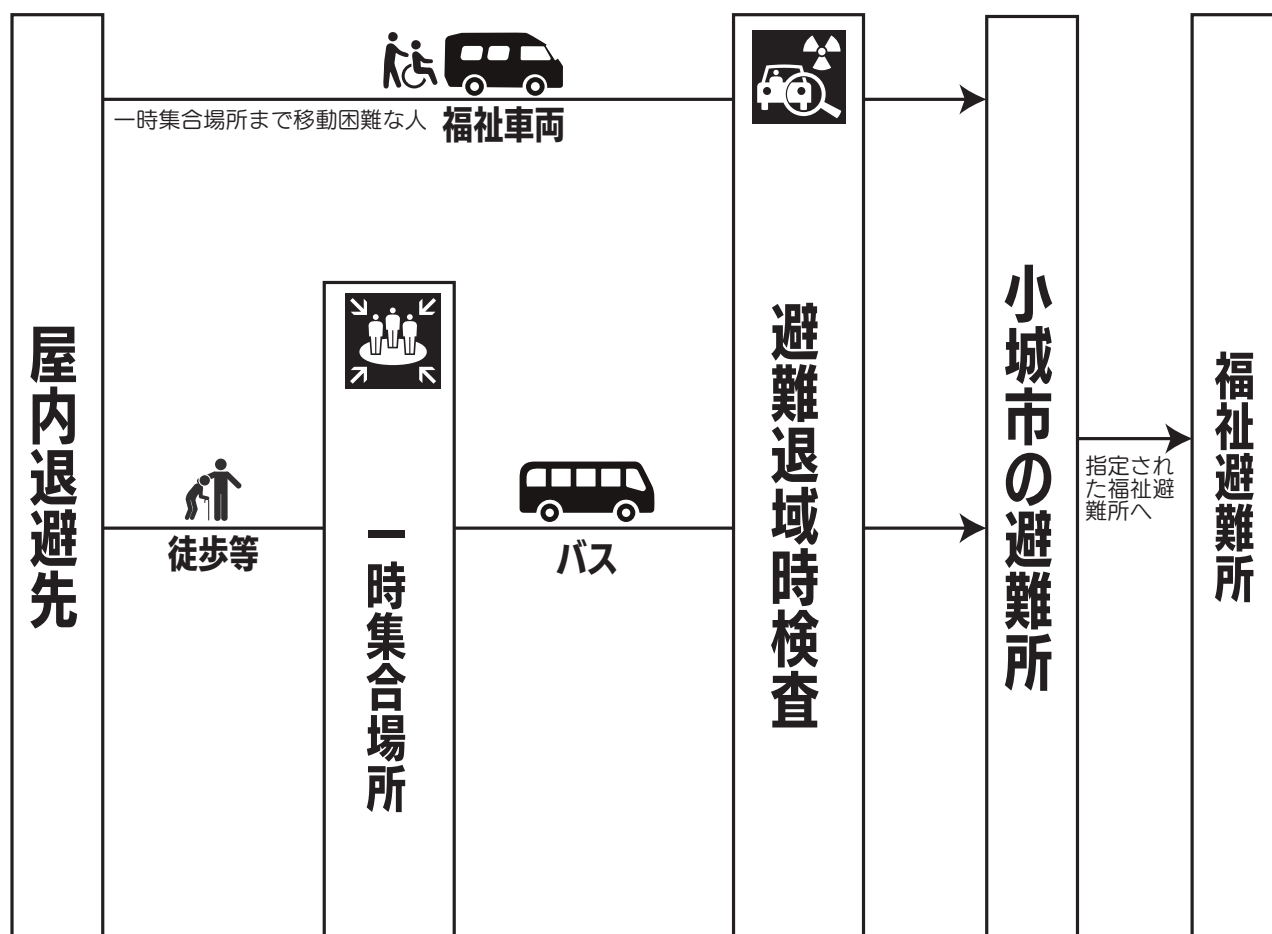


支援者の動向により避難可能な方は、支援者と共に集合場所からバスや福祉車両で小城市の避難所に避難します。その後、福祉避難所へ移動が必要な方は、避難所で指定された近隣の福祉避難所へ移動します。

移動が困難な方は、自宅等から福祉車両で避難します。

避難の実施により健康リスクが高まる方は、支援者の車両又は福祉車両で近隣の放射線防護対策施設（玄海園又はひぜん荘）へ移動し、安全に避難が実施できる準備が整い次第、避難を実施します。

UPZ の在宅避難行動要支援者



支援者の動向により避難可能な方は、支援者と共に集合場所からバスや福祉車両で小城市の避難所に避難します。その後、福祉避難所へ移動が必要な方は、避難所で指定された近隣の福祉避難所へ移動します。

移動が困難な方は、自宅等から福祉車両で避難します。

避難の途中、多久市陸上競技場で避難退域時検査を受けます。

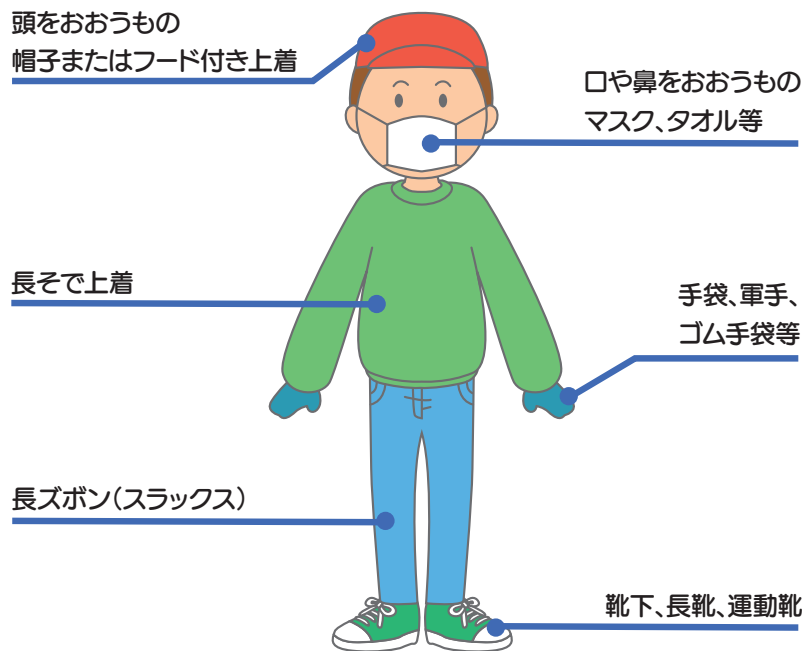
避難（一時移転）先と経路

避難時の混乱を避けて速やかに原子力発電所から距離をとっていただく観点から、地区ごとに避難先や主要な避難経路が定められています。

詳しくは、[27 ページ](#)をご覧ください。

避難（一時移転）時の服装

できるだけ肌を直接出さない服装を心がけましょう。



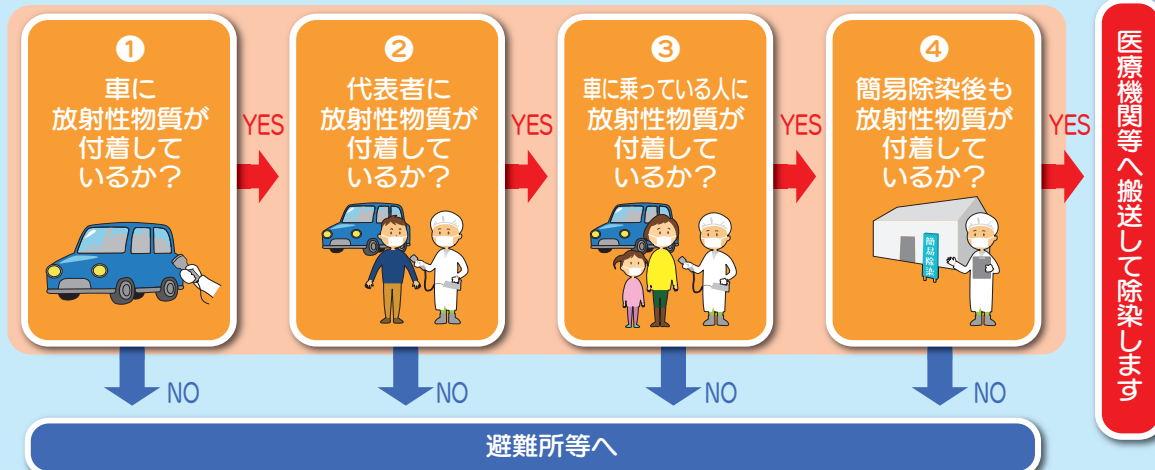
※レインコート等でも可

避難退域時検査と除染

UPZ の一時移転（避難）では、避難退域時検査場所（多久市陸上競技場）でスクリーニングと除染を行います。スクリーニングでは、身体表面や車両に放射性物質が付着しているかどうかを測定します。基準値を超えた場合には、簡易除染を行います。係員の指示に従ってください。

検査や簡易除染完了時に**各人に通過証を配布していますので、確実に受領して避難所へ移動**してください。

避難退域時検査場所



※簡易除染しても基準値以下にならなかった場合

- ・人 → 佐賀県医療センター好生館など専門の医療機関で除染します。
- ・車両や携行品 → 検査場所等で一時保管します。

4. 屋内退避

屋内にすることが安全への第一歩！

屋内退避の指示が出たときは、自宅などの家屋内に入り、ドアや窓を閉めてください。屋内に退避すれば、建物が持つ気密性と遮へい効果により被ばくする量を少なくすることができます。



※コンクリート造の建物は、木造の建物に比べ放射線の遮へい効果がより大きくなります。

※外気を取り入れないタイプのエアコンは屋内退避中でも使用できます。ご家庭のエアコンのタイプをご確認ください。

屋内退避の有効性



	屋外滞在時	木造家屋	コンクリート建物
外部被ばく 屋外滞在時の外部被ばく線量を1として比較	1.0	0.55	0.12
内部被ばく 屋外滞在時の内部被ばく線量を1として比較	1.0	0.3	0.3
被ばく 屋外滞在時の被ばく線量を1として比較	1.0	0.45	0.19

出典：原子力災害発生時の防護措置 - 放射線防護対策が講じられた施設等への屋内退避 -
(内閣府（原子力防災担当）作成）（令和4年10月27日）

屋内退避の準備

- ☐ 避難（一時移転）の準備（☞ 8 ページ「2. 避難（一時移転）の準備」参照）
- ☐ 屋内退避中の飲料水（1日1人3リットル）、非常食、薬やミルクなどを準備（最低でも3日分！できれば7日分）
- ☐ 在宅の避難行動要支援者の支援者は、要支援者の準備を支援

5. 飲食物の摂取制限

飲食物の摂取制限は、飲食物中の放射性核種濃度の測定を行い、一定以上の濃度が確認された場合に、該当する飲食物の摂取を回避することで飲食による内部被ばくの低減を図る防護措置です。県や町からお知らせするので、指示に従ってください。

6. 安定ヨウ素剤

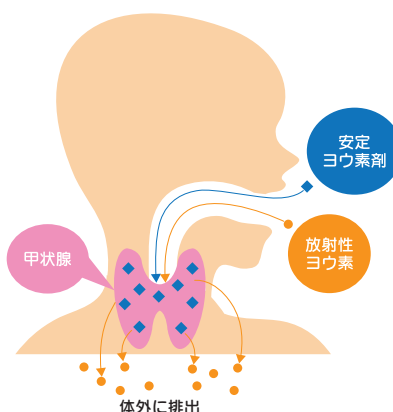
問い合わせ先：役場こども・ほけん課（52-2159）

安定ヨウ素剤とは

原子力災害時には、放射性ヨウ素が大気中に放出されることがあります。呼吸や飲食により放射性ヨウ素を大量に接種すると、甲状腺に集まり、内部被ばくにより甲状腺がんを発症する可能性があります。あらかじめ「安定ヨウ素剤」を服用することで甲状腺の内部被ばくを予防または低減する効果があります。



安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素以外の放射性物質には全く効果がありません。このため、服用後も必ず避難や屋内退避などの防護措置は継続してください。



服用について

服用指示が出たら速やかに服用しましょう！

服用の判断は、避難指示等と合わせて、国の原子力規制委員会が行います。

安定ヨウ素剤は、効果のある時間が限られるため、服用の指示に従い、適切なタイミングで服用することが大切です。

大人（13 歳以上）	➡ ヨウ化カリウム 丸剤 2 丸
子供（3 歳以上 13 歳未満）	➡ ヨウ化カリウム 丸剤 1 丸
乳幼児（生後 1 ヶ月以上 3 歳未満）	➡ ヨウ化カリウム 内服ゼリー 32.5mg
新生児（生後 1 ヶ月未満）	➡ ヨウ化カリウム 内服ゼリー 16.3mg



（ヨウ化カリウム丸剤）



（ヨウ化カリウム内服ゼリー）

服用時の注意

- ☐ 服用は原則 1 回（連続服用はしない。指示があった場合のみ再度服用する。）
- ☐ 服用量を厳守する。
- ☐ 妊婦、授乳婦、未成年者は服用を優先すべき対象者とされているので、必ず服用（年齢が低いほど放射性ヨウ素による内部被ばくによる健康影響として甲状腺がん等の発症のリスクが高いとされている。）
- ☐ 妊婦、授乳婦の方で服用された場合は、医師や薬剤師にご相談ください。
- ☐ 副作用の生じる可能性は極めて低い（1 回の経口投与のため）
- ☐ ヨウ素過敏症の既往歴のある方は、服用することができません。
- ☐ ヨード造影剤過敏症の既往歴のある方は、服用について医師にご相談ください。
- ☐ 治療中の病気、服用している薬がある方は、服用について医師にご相談ください。

入手方法

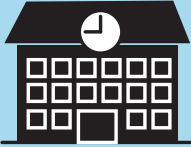
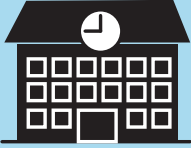
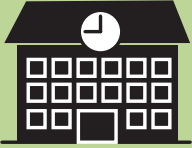
	事前配布	緊急配布
時期	平素	原子力災害発生後
PAZ	40 歳未満の方、40 歳以上の妊婦・授乳婦・妊娠を希望する女性が配布の対象です。県や町から配布の案内があった場合には必ずお受け取りください。 配布対象者でなくても希望される方には、配布します。	持っていない方は、避難時に一時集合場所や値賀分館で受け取ってください。 ふたば園は、園児分を別途保管しています。
UPZ	健康上の理由等で、緊急時に速やかに受け取ることが困難な方で希望される方には、郵送での配布を行っています。	持っていない方で一時移転（避難）の指示対象地区の方は、一時集合場所や役場で受け取ってください。 玄海みらい学園とあおば園は、児童生徒・園児分を別途保管しています。 避難退域時検査場所でも受け取りできます。

事前配布を受けたら適切に管理してください。安定ヨウ素剤には、有効期限がありますので期限切れ前に更新してください。

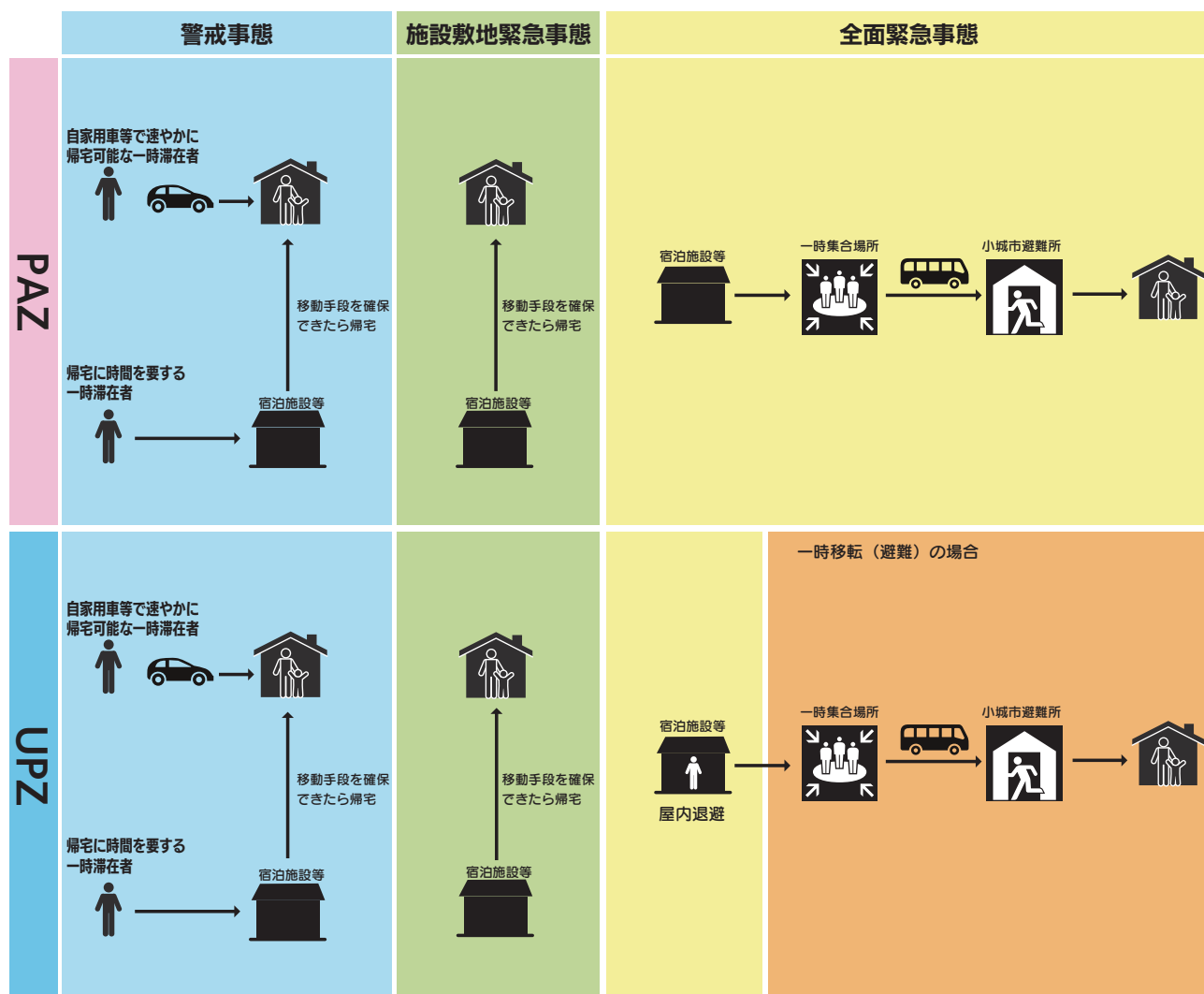
緊急時に持ち出せるように保管場所を決めておきましょう。

7. 学校などの対応

原子力災害時における PAZ 内のふたば園とさくら児童館、UPZ 内のあおば園、みどり児童館と玄海みらい学園の対応です。細部については、各施設の指示に従ってください。

	警戒事態	施設敷地緊急事態	全面緊急事態
PAZ	 ↓  保護者引渡し	 →  職員と避難 ↓  保護者引渡し	 ↓  保護者引渡し
UPZ	 ↓  集団下校  保護者引渡し	 ↓  保護者引渡し	 職員と屋内退避 一時移転（避難）の場合  →  職員と一時移転（避難） ↓  保護者引渡し

8. 一時滞在者の対応



町は警戒事態で帰宅を呼びかけますので、一時滞在者は帰宅してください。

帰宅等に時間を要する一時滞在者は、宿泊施設や町が開設する避難所等に移動してください。

PAZ 地区では、全面緊急事態で近くの一時的集合場所からバス等で小城市に避難し、避難先の小城市から帰宅してください。

UPZ 地区では、全面緊急事態で宿泊施設等で屋内退避を実施し、一時移転（避難）の指示により小城市へ一時移転（避難）をします。

落ち着いて町からの指示等に従ってください。

9. 甲状腺被ばくモニタリング

甲状腺被ばくモニタリングは、放射性ヨウ素の吸入による甲状腺への集積の程度を定量的に把握し、被ばく線量を推定するために県が実施します。

対象者は、UPZ から一時移転（避難）した19歳未満の人、妊婦および授乳婦です。乳幼児については、測定が困難な場合には行動を共にした保護者等を測定して線量を推定します。小城市の避難所等で実施されますので、職員などの指示に従ってください。

10. その他

すぐに帰宅できないときは

帰宅手段が確保できない、帰宅中の安全が確保できない（地震や悪天候が継続している、道路が通行できないなど、人命への危険が見込まれる場合（☞ 22 ページ「複合災害時の行動」参照））ときなどは、無理に帰宅せず、職場や学校、近くの避難所などで待機し、町からの指示を待ってください。PAZ または UPZ のどちらににいるかによって、その後の避難行動がかわります。

家族が別々になったときの避難行動

状況	自分	家族	避難行動
家族とは別の避難所に避難した場合	避難所 A	避難所 B	状況が落ち着いてからどちらかの避難所で合流し、避難を継続
家族よりも先に避難している場合	避難先 (PAZ にいて先に避難)	自宅 (UPZ にいて屋内退避)	避難または屋内退避の指示が解除されたあと、避難先または自宅で合流
UPZ で屋内退避の場所が異なる場合	自宅以外	自宅	屋内退避の指示解除後または避難後に合流

事前に家族で話し合っておきましょう

家族がどこにいるのかによって避難のタイミングが変わります。原子力災害が起きたら、家族はどう行動するのかを事前に話し合っておきましょう。

原子力災害とは

原子力施設の事故などに起因する放射性物質または放射線の異常な放出により生じる被害をいいます。

原子力災害の特徴

原子力災害は、風水害、地震、火災などとは違い、目に見えず臭いもしないなど五感に感じるできない災害です。

原子力災害に対処するためには、放射線や放射性物質に関する正しい知識を持ち、各自の判断で行動せず、国、県、町からの指示に従い、落ち着いて行動することが大切です。

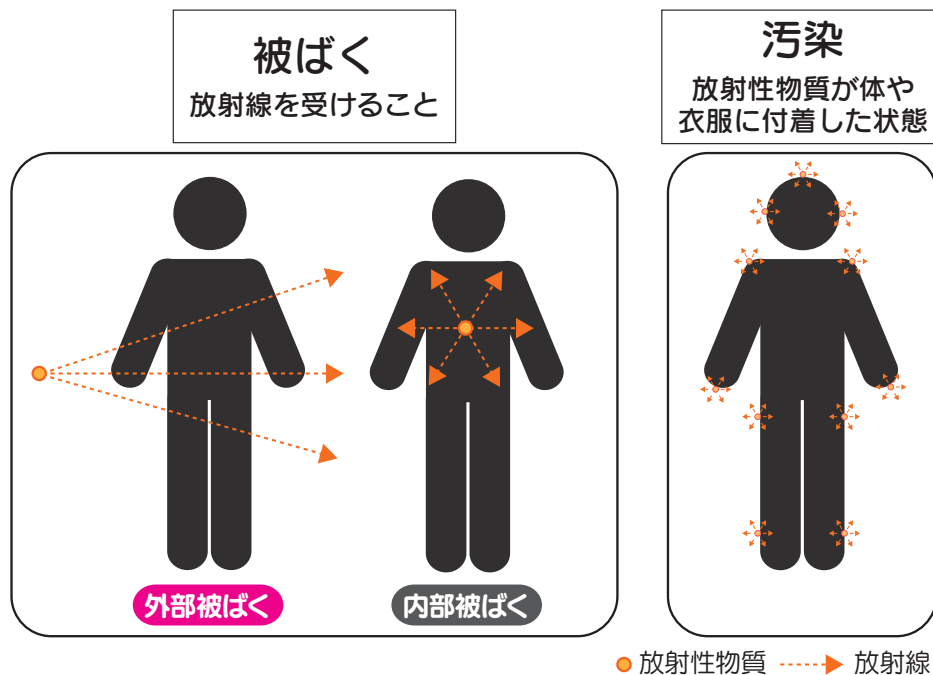
原子力災害が発生するとどうなるか

原子力発電所で事故が起きた場合、周囲に放射性物質（希ガスやその他の粒子状物質）が放出されるおそれがあります。

放射性物質は、雲のかたまり（放射性プルーム）となって移動します。

粒子状の放射性物質は、移動間に地上などに沈着する場合があります。

被ばくと汚染

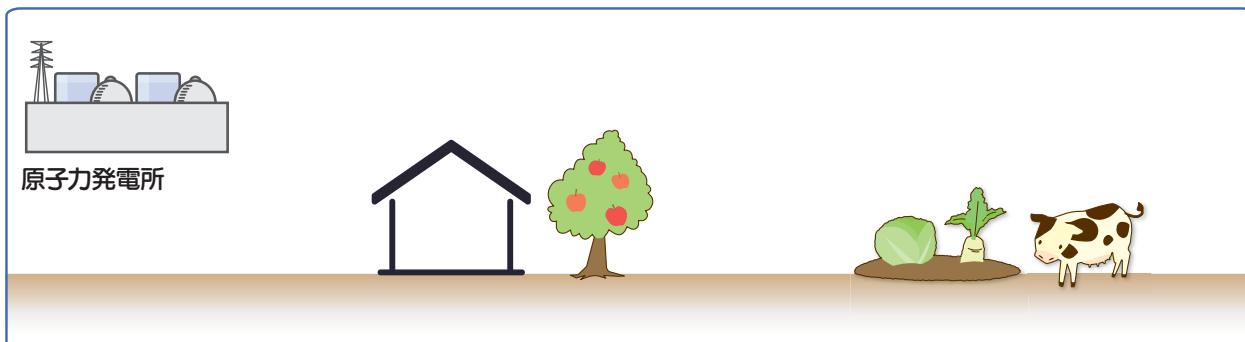


「除 染」：洗ったり拭き取ったりして、放射性物質を落とす作業

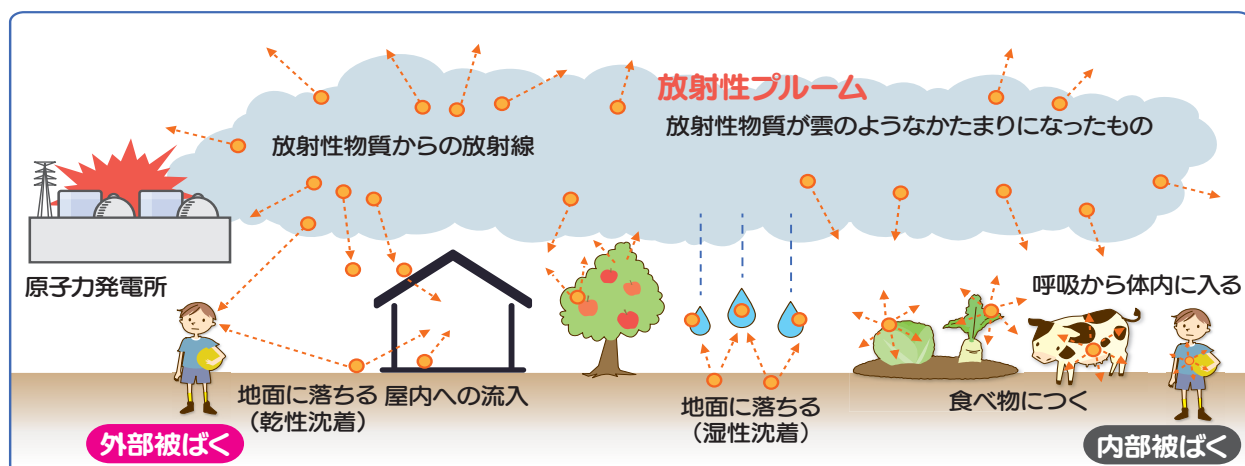
被ばくのイメージ

放射性物質放出前

放射性物質が放出前であるため災害としての被ばくは生じません。



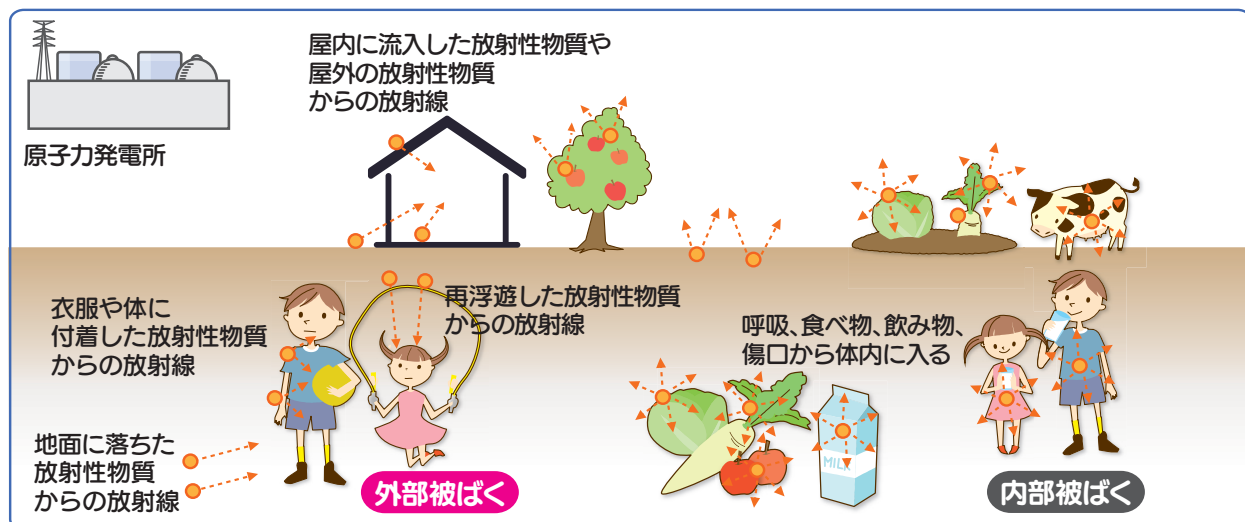
放射性プルーム通過中



※放射性物質や放射線は実際には目に見えません。

● 放射性物質 → 放射線

放射性プルーム通過後



※放射性物質や放射線は実際には目に見えません。

● 放射性物質 → 放射線

複合災害時の行動

地震との複合災害

地震に対する避難行動を優先

家屋の倒壊等により、家屋における滞在が困難な場合には、安全確保のため町にて開設する近隣の避難所等に避難し、避難所から PAZ では避難、UPZ では屋内退避や一時移転（避難）をします。また、余震により避難所でも屋内退避の継続が困難になった場合は、UPZ 内の別の避難所や UPZ 外の避難所に避難することになります。

津波との複合災害

津波に対する避難行動を優先

津波に関わる避難指示の発令など、人命のリスクが高い場合は、津波に係る指定緊急避難場所等の安全が確保できる場所に避難を実施します。津波に対する安全が確保されてから原子力災害の避難行動を行います。

暴風との複合災害

天候が回復してから避難行動を実施

外出することで命に危険が及ぶような場合には、無理に避難等せずに、安全が確保されるまで屋内退避を優先する。天候が回復し、安全が確保されてから原子力災害の避難行動を行います。

水害との複合災害

水害に対する避難行動を優先

水害の方が人命のリスクが高い場合は、水害に対する避難行動を優先し、安全が確保されてから原子力災害の避難行動を行います。

放射線の基礎知識

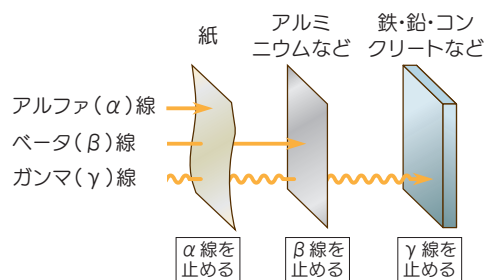
放射能、放射線、放射性物質とは

- 放射性物質から出る粒子や電磁波を「放射線」、放射線を出す能力を「放射能」、放射能を持つ物質を「放射性物質」といいます。

【懐中電灯に例えると】



- 放射線には、アルファ線、ベータ線、ガンマ線などがあり、それぞれ物質を通り抜ける力が異なります。



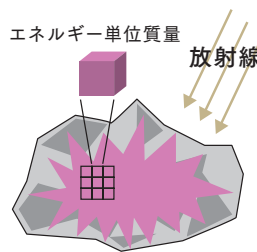
放射線は、鉄・鉛・コンクリートで防ぐことができるため、原子力災害時には、屋内退避が有効です。

$$\text{シーベルトの値} = \text{グレイの値} \times \text{放射線加重係数※1} \times \text{組織加重係数※2}$$



シーベルト (Sv)

放射線が人に対して、がんや遺伝性影響のリスクをどれぐらい与えるのかを評価するための単位
(1シーベルト=1000ミリシーベルト)



グレイ (Gy)

放射線が物や人に当たったときに、どれぐらいのエネルギーを与えたのかを表す単位
1グレイは1キログラムあたり1ジュールのエネルギー吸収があったときの線量

◆放射線加重係数

放射線の種類	放射線加重係数
光子(ガンマ線、エックス線)	1
電子(ベータ線)	1
陽子	2
アルファ粒子、核分裂片、重い原子核	20
中性子線	2.5 ~ 20 (エネルギーの連続関数で設定)

※1 放射線の種類による影響の違いを表す

※2 臓器等の組織別の影響の受けやすさを表す

◆組織加重係数

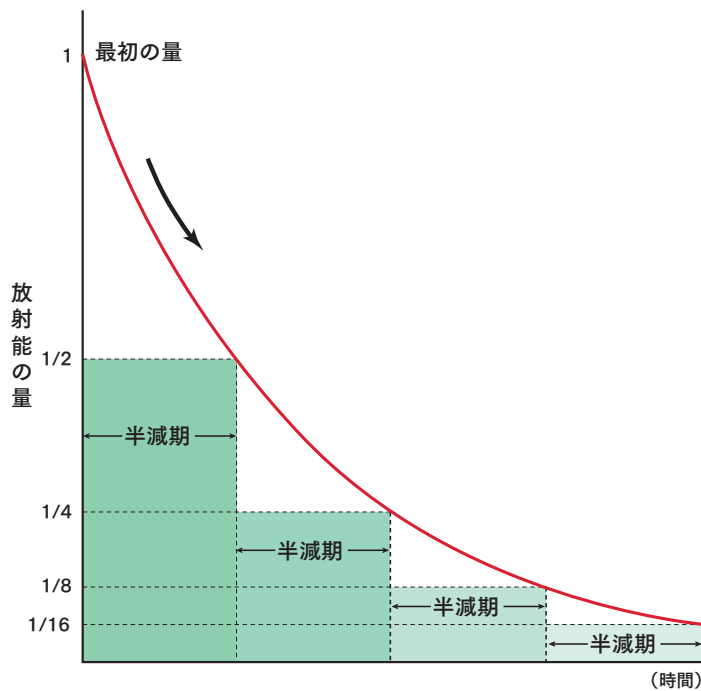
組織・臓器	組織加重係数	組織・臓器	組織加重係数
乳房	0.12	食道	0.04
赤色骨髄	0.12	甲状腺	0.04
結腸	0.12	唾液腺	0.01
肺	0.12	皮膚	0.01
胃	0.12	骨表面	0.01
生殖腺	0.08	脳	0.01
膀胱	0.04	残りの組織・臓器	0.12
肝臓	0.04		

出典：ICRP「Publication 103（2007）」より作成

出典：日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」

放射能の減り方

- 放射能（放射線を出す能力）は、時間の経過とともに減っていくという大きな特徴があります。放射能の量が半分に減るまでの時間を半減期といい、放射性物質によって異なります。



放射性物質	放出される放射線*	半減期
トリウム232	$\alpha \cdot \beta \cdot \gamma$	141億年
ウラン238	$\alpha \cdot \beta \cdot \gamma$	45億年
カリウム40	$\beta \cdot \gamma$	13億年
プルトニウム239	$\alpha \cdot \gamma$	2.4万年
炭素14	β	5,700年
ラジウム226	$\alpha \cdot \gamma$	1,600年
セシウム137	$\beta \cdot \gamma$	30年
ストロンチウム90	β	28.8年
トリチウム	β	12.3年
コバルト60	$\beta \cdot \gamma$	5.3年
セシウム134	$\beta \cdot \gamma$	2.1年
ヨウ素131	$\beta \cdot \gamma$	8日
ラドン222	$\alpha \cdot \gamma$	3.8日
ナトリウム24	$\beta \cdot \gamma$	15時間

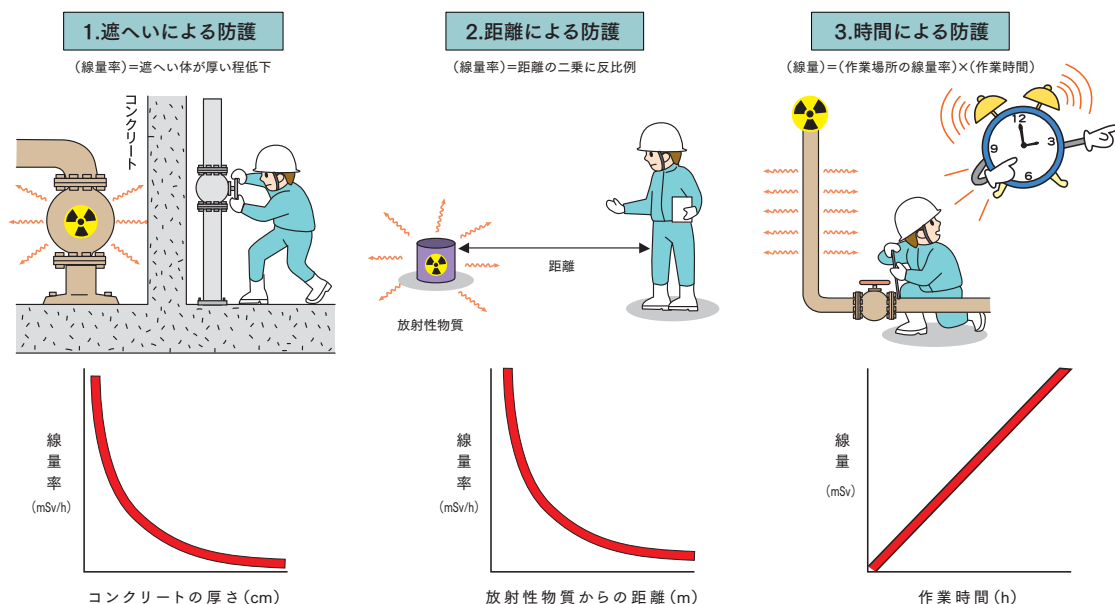
※壊変生成物（原子核が放射線を出して別の原子核になったもの）からの放射線も含む

出典：（公社）日本アイソトープ協会「アイソトープ手帳（2012年）」より作成

出典：日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」

放射線防護の基本

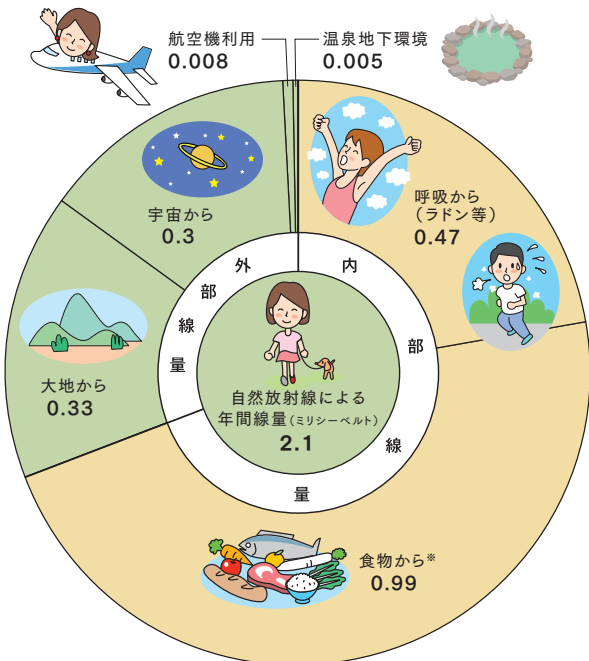
- 放射線防護の3原則は、遮へい・距離・時間という3つです。「遮へい」の原則は、放射線源と作業者の間に遮へい物を設置することにより被ばく線量を低減すること、「距離」の原則は、放射線源と作業者との距離を離すことにより、作業時における空間線量率を低減することです。「時間」の原則は、作業者が放射線を受ける時間を短縮することです。



出典：日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」

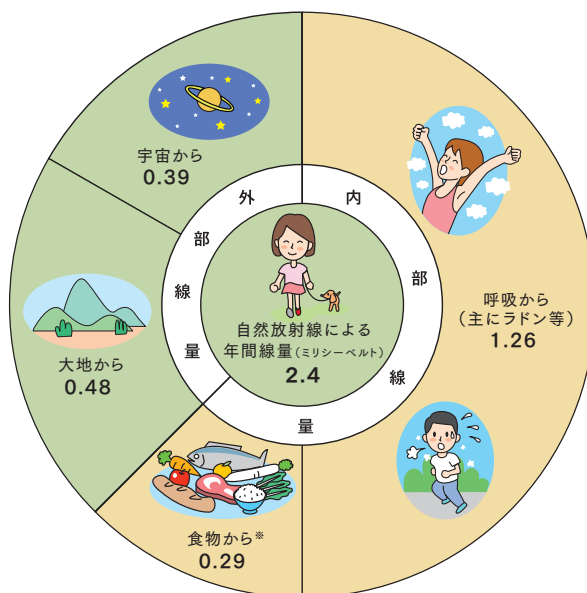
日常生活と放射線

一人あたりの年間線量(日本平均)



※欧米諸国に比べ、日本人は魚介類の摂取量が多く、ポロニウム210による実効線量が多い

一人あたりの年間線量(世界平均)



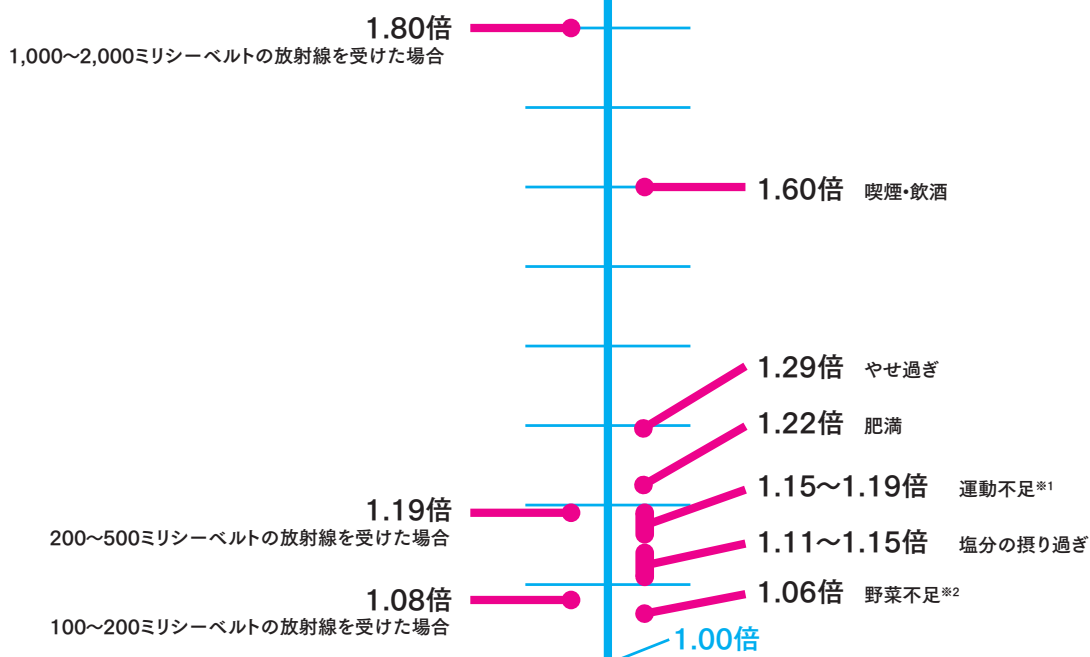
出典：国連科学委員会 (UNSCEAR) 2008年報告書、(公財) 原子力安全研究協会「生活環境放射線 第3版 (2020年)」より作成

出典：日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」

(対象:40～69歳の日本人)

放射線を受けた場合のがん要因・リスク

生活習慣によるがん要因・リスク



(注) 放射線は、広島・長崎の原爆による瞬間的な被ばくを分析したデータ(固形がんのみ)であり、長期にわたる被ばくの影響を観察したものではない

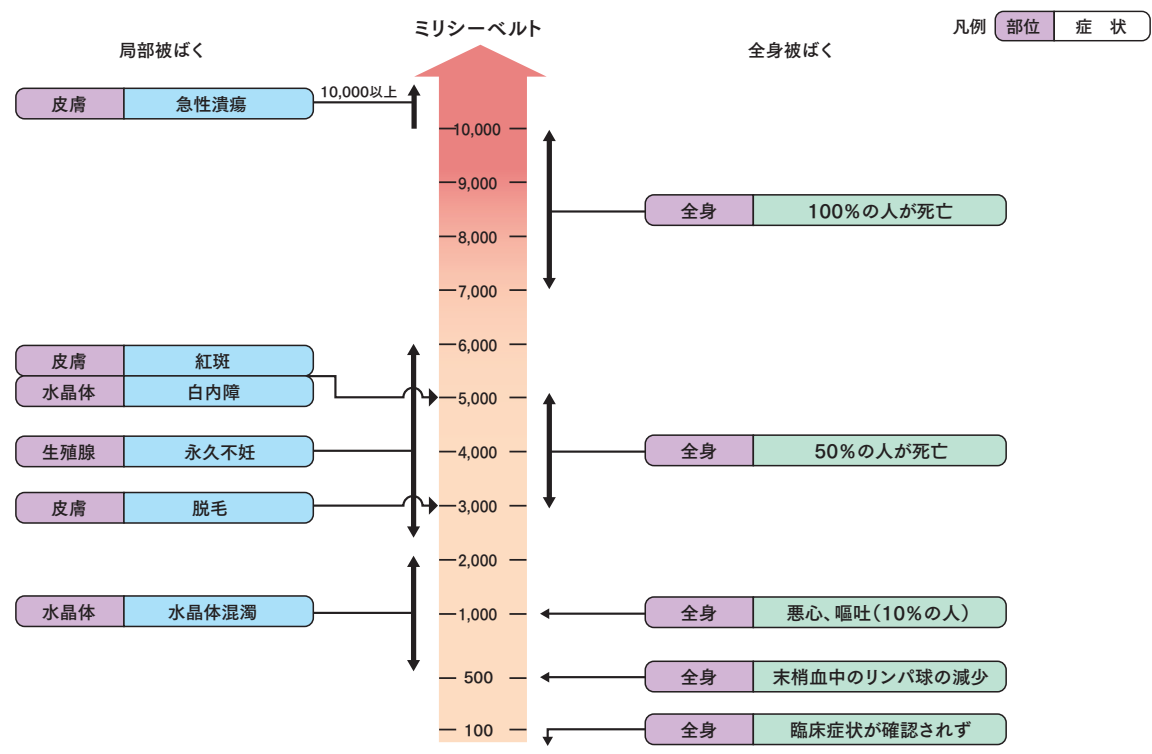
※1 運動不足:身体活動の量が非常に少ない

※2 野菜不足:野菜摂取量が非常に少ない

出典：(独) 国立がん研究センター調べのデータより作成

出典：日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」

放射線を一度に受けたときの症状



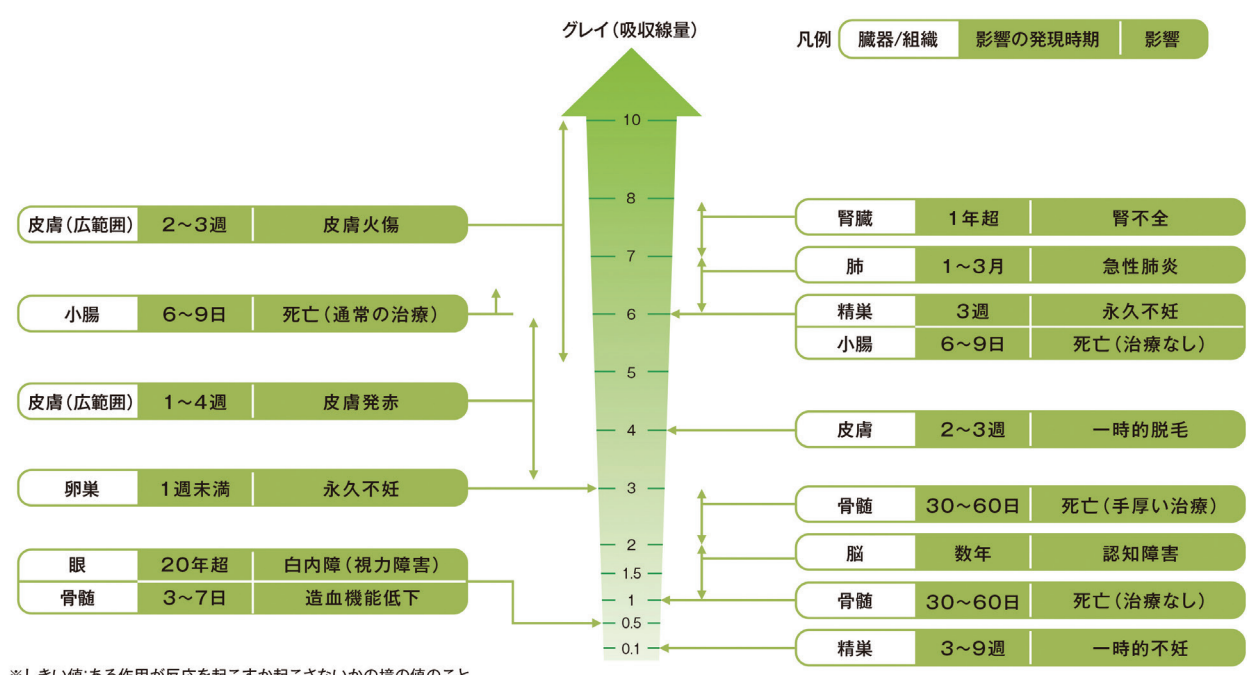
(注1)がんや遺伝性影響を除く確定的影響(組織反応)について記載
(注2)一般の人の線量限度1.0 mSv/年、原子力発電所周辺の線量目標0.05 mSv/年

出典：(公社)放射線影響協会「放射線の影響がわかる本」より作成

出典：日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」

放射線を受けたときの人体への影響

ガンマ線急性被ばく後の主な罹病の1%発生率と死亡に対するしきい値※



※しきい値:ある作用が反応を起こすか起こさないかの境の値のこと

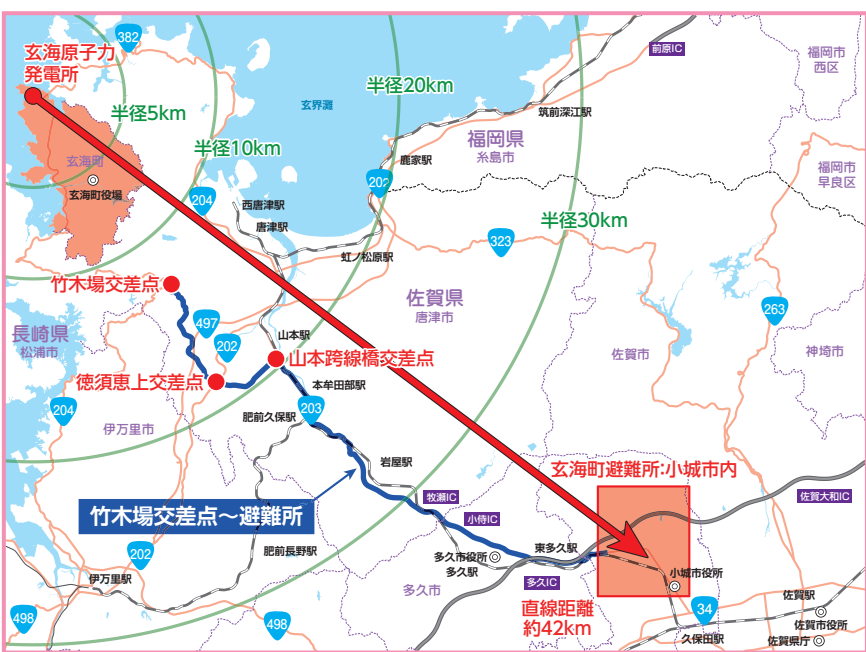
出典：ICRP「Publication 103,118」より作成

出典：日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」

放射線の基礎知識

避難所・避難経路





原子力災害時における各地区の避難所一覧

No.	地区名	一時集合同所	避難所施設名称
1	外 津	外津漁村環境改善総合センター	A 佐賀県立小城高等学校
2	値 賀 川 内	値賀川内公民館	B 小城市立晴田小学校
3	下 宮	下宮公民館	C 小城市立桜岡小学校
4	中 通	中通公民館	D 小城市立小城中学校
5	仮 立	仮立公民館	C 小城市立桜岡小学校
6	普 恩 寺	九州電力値賀寮体育館	E 小城市小城体育センター
7	シーラintown	九州電力値賀寮体育館	B 小城市立晴田小学校
8	平 尾	値賀第2コミュニティセンター・特別養護老人ホーム「玄海園」	F 小城市まちなか市民交流プラザ「ゆめぶらっと小城」
9	浜 野 浦	浜野浦公民館	E 小城市小城体育センター
10	小 加 倉	小加倉公民館	G 小城市文化センター
11	栄	栄公民館	E 小城市小城体育センター
12	花 の 木	花の木公民館	D 小城市立小城中学校
13	大 園	大園公民館	A 佐賀県立小城高等学校
14	仮 屋	仮屋コミュニティセンター	H 小城保健福祉センター「桜楽館」
15	石 田	石田公民館	D 小城市立小城中学校
16	有 浦 下	有浦下公民館	I 小城公民館岩松支館
17	有 浦 上	有浦上公民館	J 小城市立三里小学校、(小城市小城体育センター)
18	諸 浦	玄海町役場	K 小城市立岩松小学校
19	新 田	町民会館	L 小城市生涯学習センター「ドゥイグ三日月」
20	長 倉	玄海町役場	M 小城公民館三里支館
21	轟 木	轟木公民館	N 小城市児童センター「ゆうゆう」
22	藤 平	藤平公民館	N 小城市児童センター「ゆうゆう」
23	田 代	田代公民館	D 小城市立小城中学校
24	牟 形	旧牟形コミュニティセンター	L 小城市生涯学習センター「ドゥイグ三日月」
25	大 鳥	大鳥公民館	O 小城公民館晴田支館
26	座 川 内	座川内公民館	F 小城市まちなか市民交流プラザ「ゆめぶらっと小城」、(佐賀県立小城高等学校)
27	湯 野 尾	湯野尾公民館	O 小城公民館晴田支館

避難所 位置図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の地番地図情報を使用した。
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 3JHs 57」



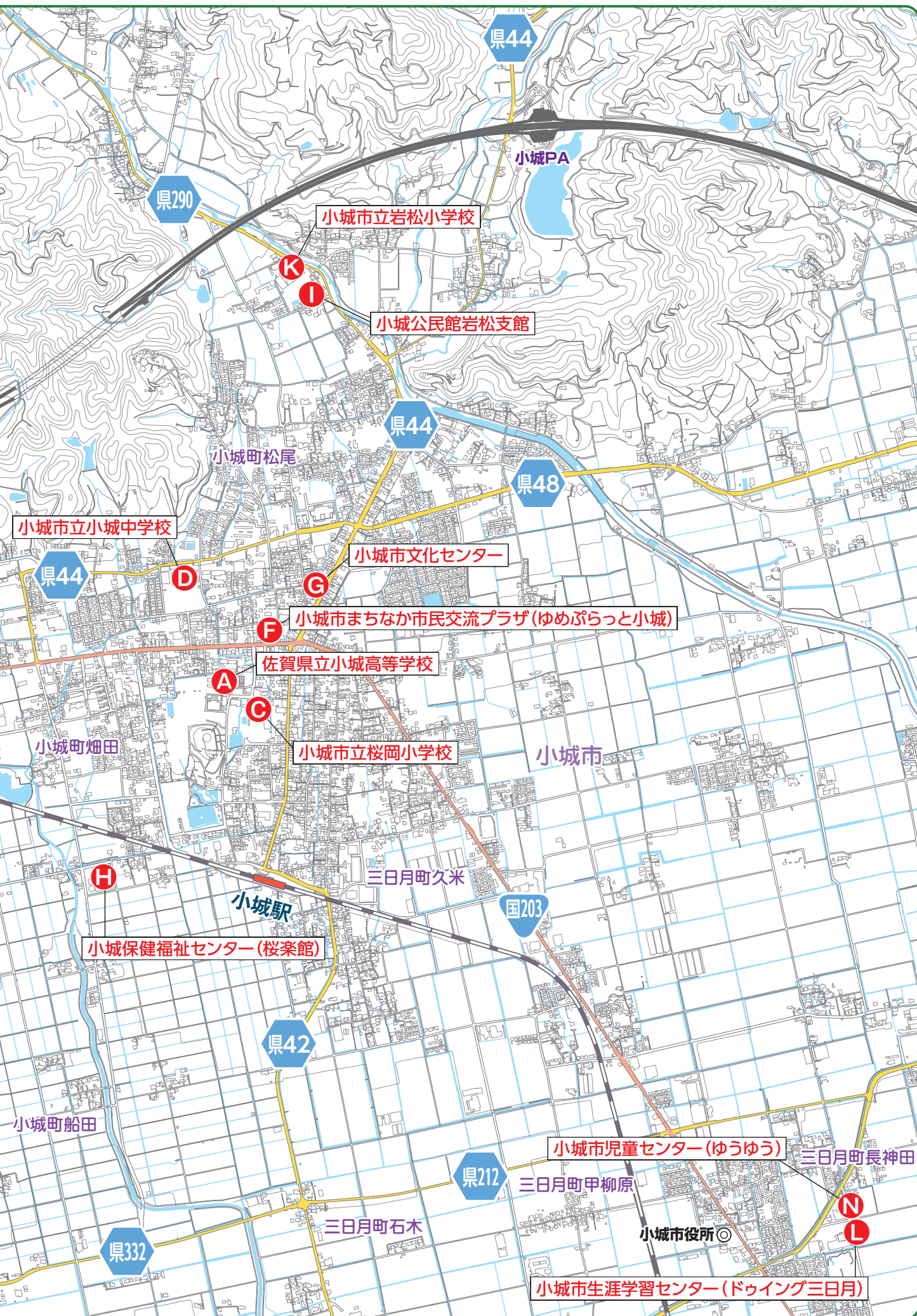
取るべき
行動

原子力災害
とは

複合災害時の
行動

放射線の
基礎知識

避難所・
避難経路



原子力災害家族避難計画

取るべき 行動	放射性物質放出前			
	名前	職場・学校等 (区域)	警戒事態	施設敷地 緊急事態
原子力災害 とは				
複合災害時の 行動				
放射線の 基礎知識				
避難所・ 避難経路				

家族がどこにいるかによって避難のタイミングが変わります。原子力災害が起きたら、家族はどう

(自宅：PAZ・UPZ)



放射性物質放出後

全面緊急事態

一時移転(避難)
指示後

家族との
合流

取るべき
行動

原子力災害
とは

複合災害時の
行動

放射線の
基礎知識

避難所・
避難経路

行動するかを事前に話し合っておきましょう。避難計画を作成して家族内で共有しましょう。

家族 MEMO

住所 〒	☐ どちらかチェック	TEL () -
	☐ PAZ 発電所からおおむね5kmまで ☐ UPZ 発電所からおおむね5km～30km	

ふりがな	血液型
氏 名	RH(+-) 型 生年月日(西暦)
TEL () -	

ふりがな	血液型
氏 名	RH(+-) 型 生年月日(西暦)
TEL () -	

ふりがな	血液型
氏 名	RH(+-) 型 生年月日(西暦)
TEL () -	

ふりがな	血液型
氏 名	RH(+-) 型 生年月日(西暦)
TEL () -	

ふりがな	血液型
氏 名	RH(+-) 型 生年月日(西暦)
TEL () -	

ふりがな	血液型
氏 名	RH(+-) 型 生年月日(西暦)
TEL () -	

連絡方法

電話やメール以外の方法も考えて

①	
②	
③	

避難経由所

28～29 ページで確認

名 称	
所在地	

バス避難の集合場所

27 ページで確認

--

安定ヨウ素剤の保管場所

PAZ 地区の方

--

必要な連絡先 (親戚・学校・病院など)	①	名 称		⑤	名 称	
		TEL () -			TEL () -	
	②	名 称		⑥	名 称	
		TEL () -			TEL () -	
	③	名 称		⑦	名 称	
		TEL () -			TEL () -	
	④	名 称		⑧	名 称	
		TEL () -			TEL () -	



■ご質問・ご意見は

玄海町役場防災安全課

TEL : 0955-52-2115 FAX : 0955-52-5008

E-Mail : bousai@town.genkai.lg.jp

